

自治会・町内会運営状況等アンケート結果

令和7年1月に、自治会等の活動内容など、実態を把握するためのアンケートを実施しました。その結果について、主なものを掲載します。

調査対象：明石市内の自治会等 472 団体

調査期間：令和7年1月6日～令和7年1月31日

調査方法：郵送・オンライン調査（調査票郵送・回収、調査対象者自記入もしくは電子入力）

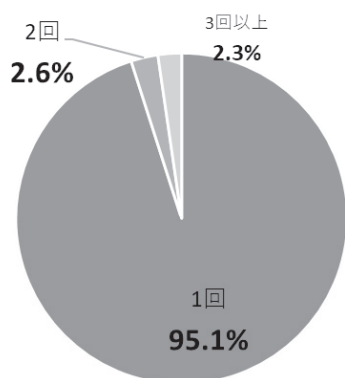
調査内容：自治会等の活動内容や課題、自治会長業務の実態等

回収率：調査票回収数 356 票／有効回収率 75.42%

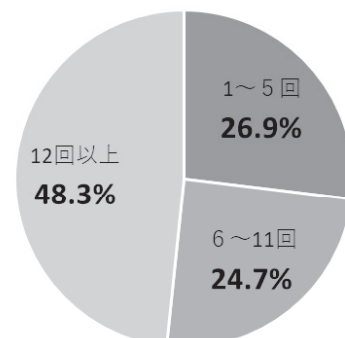
※令和2年1月にも同様の調査を実施しているため、結果を比較しているものもあります。

◆会議の開催回数 ※不明、無回答除く

・総会 (n=304)



・役員会 (n=271)



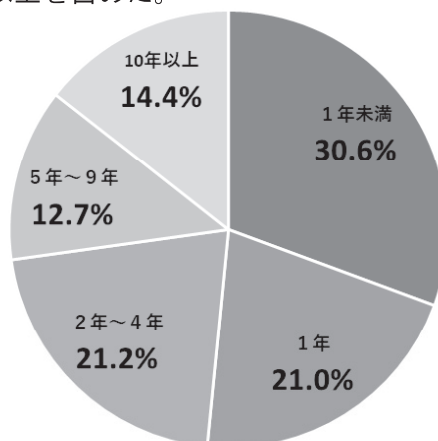
総会・役員会の開催回数については、総会が年1回、役員会が年12回以上開催する自治会が多かった。

また、その他の回答としては、“隣保長（班長）会”“理事会”や、少人数での“会長・副会長会”“三役会”の回答が多く、お祭り等行事の実行委員会のほか、マンション自治会では管理組合との連絡会を開催しているところもあった。

◆自治会長経験年数 (n=353)

※不明、無回答除く

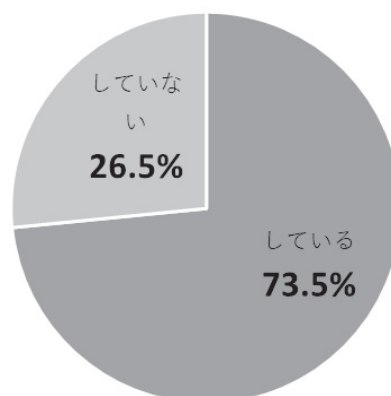
“1年未満”“1年”と回答した自治会等が半数以上を占めた。



◆広報活動の取り組み (n=339)

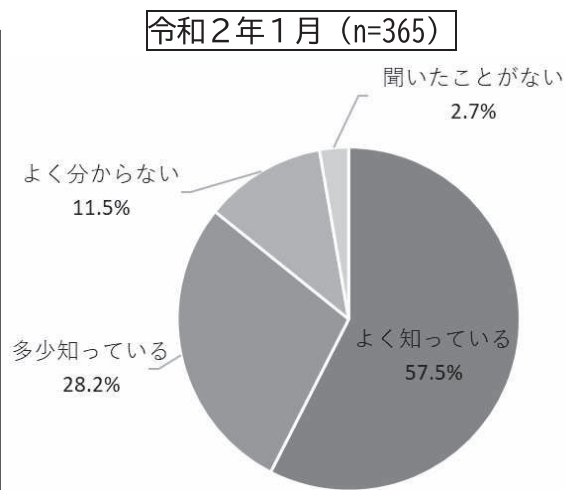
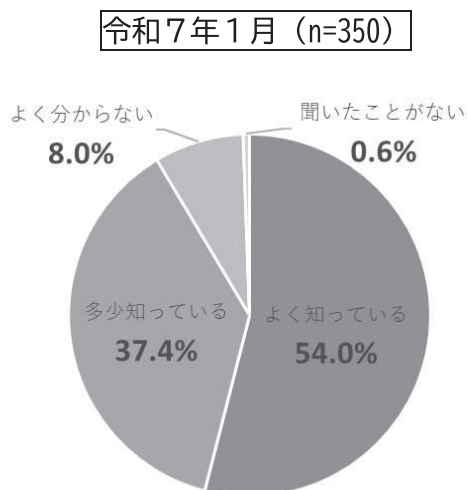
※不明、無回答除く

“広報活動をしている”と回答した自治会等は約7割を占めており、広報手段として、“総会議事録の回覧（配布）”と回答した自治会等が約6割、“広報紙を発行している”と回答した自治会等が約3割を占めた。



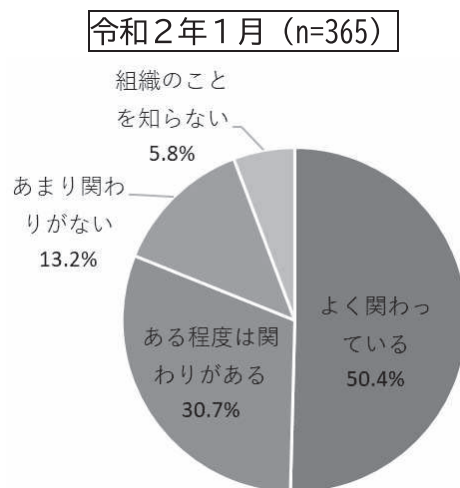
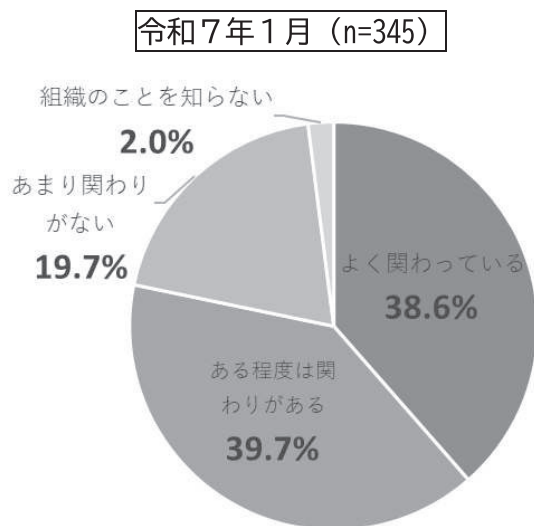
◆明石市の「小学校区単位のまちづくり」の認知度 ※不明、無回答除く

令和2年調査分と比較すると、“よく知っている” “多少知っている” と回答した自治会等の合計が増加して、約9割を超えていることが分かる。



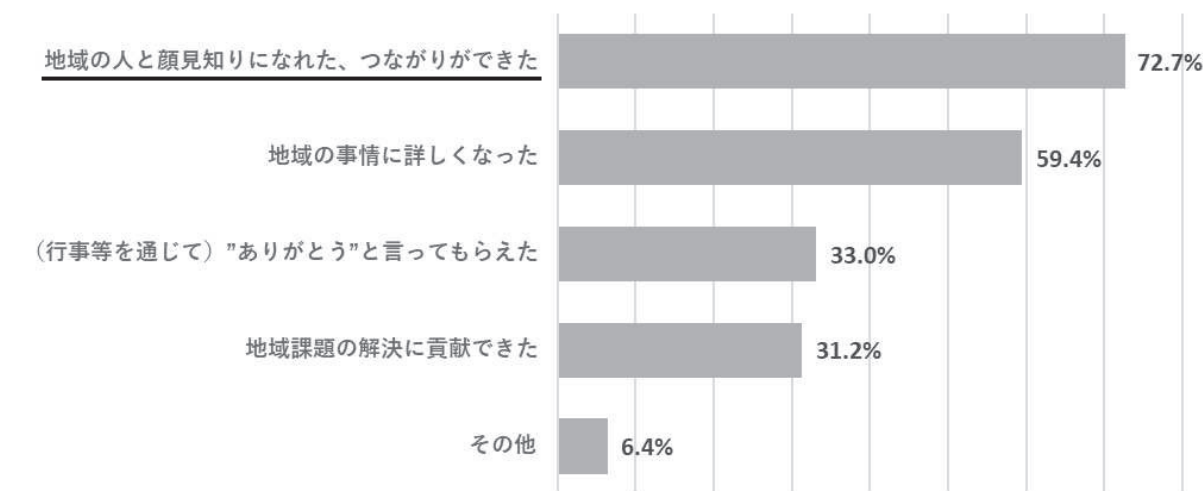
◆校区まちづくり組織との関わり ※不明、無回答除く

令和2年調査分と比較すると、“よく関わっている” “ある程度は関わりがある” と回答した自治会等の割合に、大きな差はみられなかった。



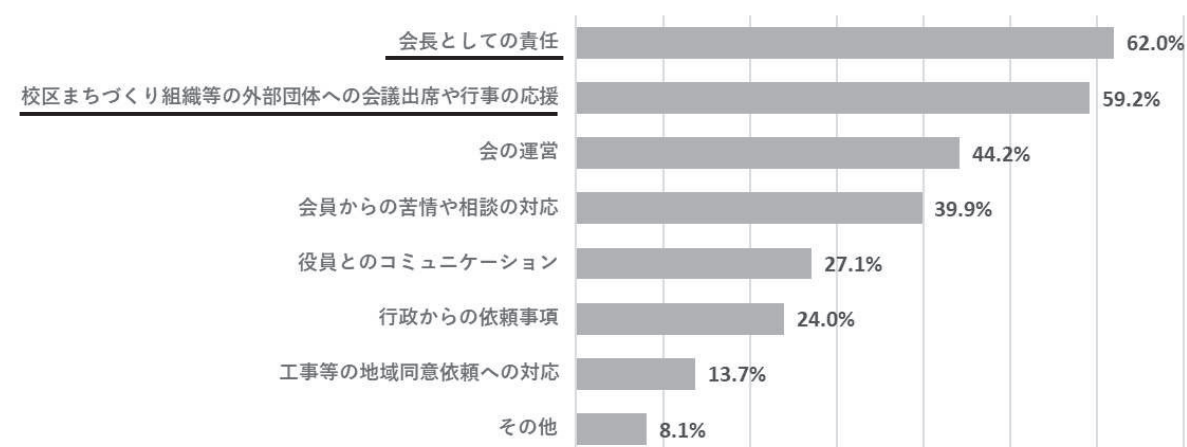
◆自治会長をして良かったと感じること（n=330） ※複数回答あり

約7割の自治会等が、“地域の人と顔見知りになれた、つながりができた”と回答した。その他の回答としては、“人を思う気持ちを培える。”“自治会長の肩書があることで、団地内の気になった事案を文書で掲示したり配布したりしやすい。”などだった。

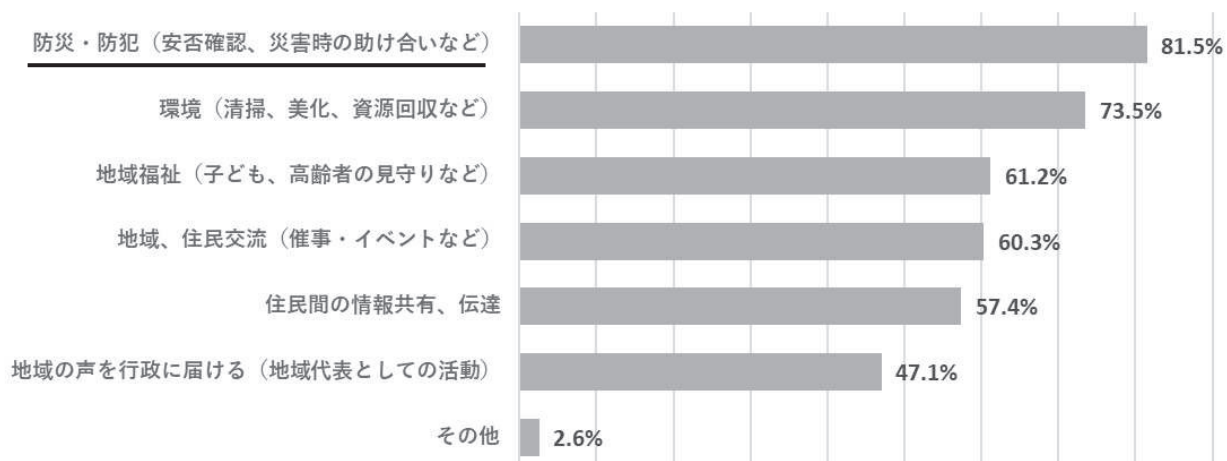


◆自治会長として負担に思うこと（n=321） ※複数回答あり

“会長としての責任”“校区まちづくり組織への会議出席や行事応援”を負担と回答した自治会等は約6割だった。また、その他の回答としては、“行事があれば仕事を休まなければならない。”“次の会長交代が大変。”などだった。

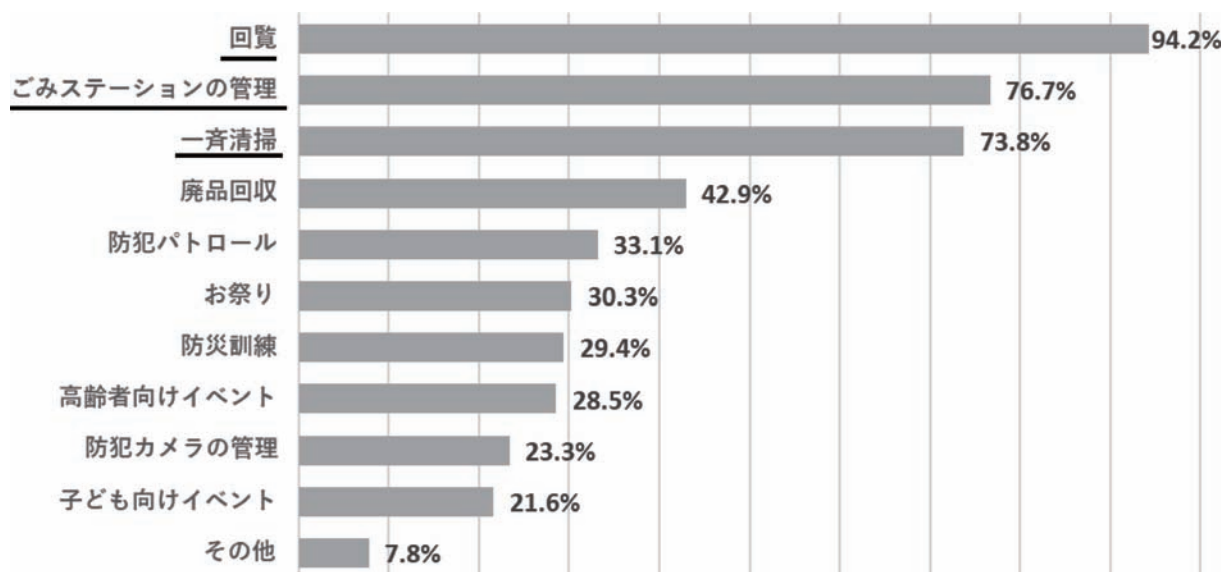


◆自治会活動として必要だと思う取組み（理想）（n=340） ※複数回答あり

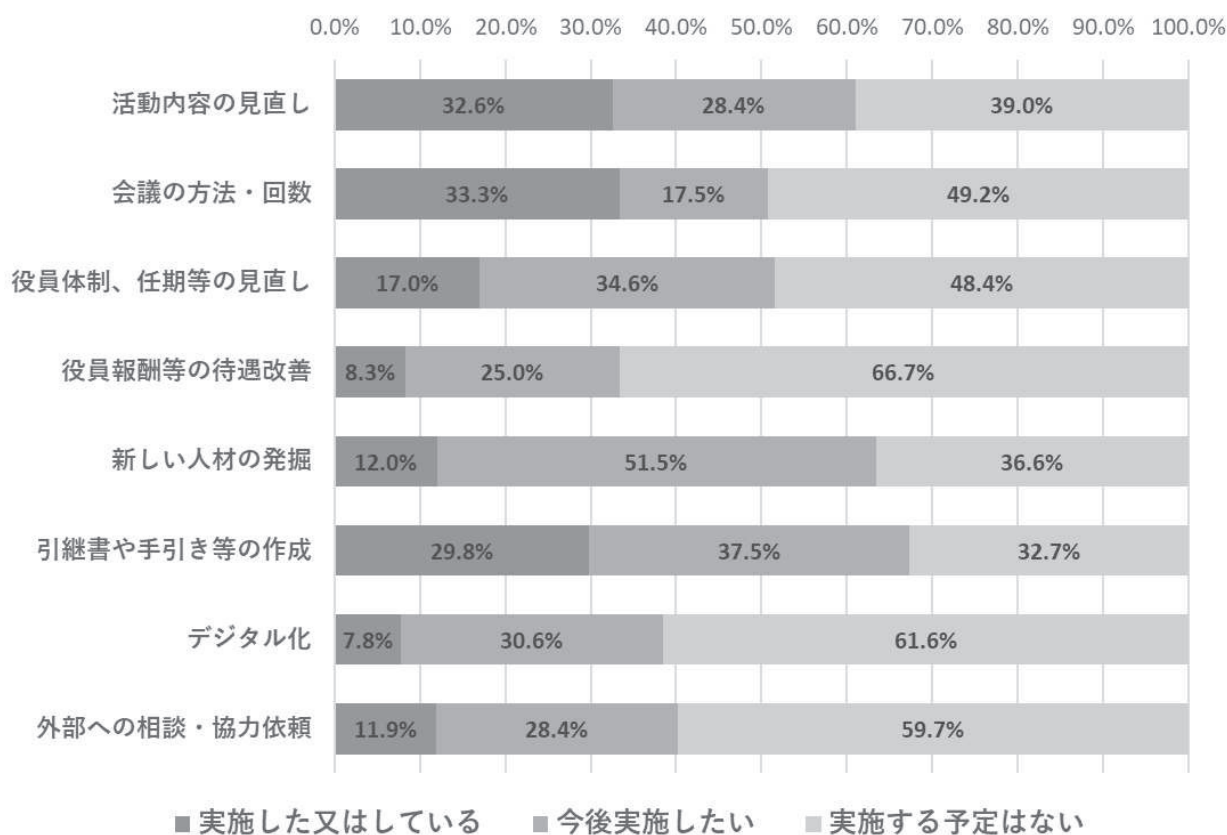


◆自治会主体で実施している取組み（現状）（n=347） ※複数回答あり

“回覧”“ごみステーションの管理”“一斉清掃”の3項目を回答した自治会等が多く占めた。



◆自治会活動で工夫・見直した取組み（n=322） ※複数回答あり



より詳しいアンケート結果のまとめは明石市ホームページからご覧いただけます。

コミュニティ・生涯学習課（078-918-5004）